

技術士 2次試験に合格して



神尾 謙太郎

(かみお けんたろう)

勤務先

株式会社 福田水文センター

環境水工部

〒001-0024 札幌市北区北24条西15丁目2-5

TEL 011-736-2371 FAX 011-736-2371

E-mail k-kamio@f-suimon.co.jp

■ 専門：建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

1. 自己紹介

私は1974年(昭和49年)に札幌市で生まれました。その後、平成9年に北海学園大学土木工学科を卒業し、就職は興味のある分野である水文・環境調査、建設コンサルタント等を主に行っている(株)福田水文センターに入社しました。現在まで主に河川に関する建設コンサルタント業務に従事しております。

趣味は音楽活動(ドラマー)です。好きなジャンルはロックですが、大学時代はジャズ研究会に所属しておりました。

2. 技術士試験について

技術士資格は大学での講義等で必要性について聞いておりました。就職に有利なので早く受験し取得した方がよいとのことで、就職時の面接において受験意欲をアピールした記憶があります。とはいえ、そう簡単に合格できないだろうと思っておりました。実際のところ、1次試験から含めると平成12年から受験していましたので15年の経験があります。そこで、1次試験を含めた合格までに経験・苦労した点等についてお話し致します。

・1次試験について

やる気が芽生えたのは、平成16年度に社内で比較的多くの合格者が出たことが契機でした。先を越され悔しい思いからもっと勉強をするべきだと決心しました。しかし、現実には甘くなかったです。それ以後もなかなか合格出来ませんでした。

そこで、過去問をやるだけではだめだと思い、問題集の解説を読みながら応用できるよう対策をしたところ、平成20年度に合格することができました。

・2次試験(筆記)について

初受験の平成21年度は建設環境で受験しました。まず経歴票の添削を受けながら申込書を作成し、経験するといった感じでした(勿論不合格)。翌

年は社内勉強会に積極的に参加し勉強したのですが、建設一般の成績が悪く不合格となりました。

平成23年度からは河川、砂防及び海岸・海洋に変更して受験しました。ここでは、課題解決能力に関して、論理的な文章とはどういうことか先輩技術士から基本を教わり試験に臨みました。しかし、専門分野の成績が振るわず、以後3年間合格(H25年度は何と失格)できませんでした。

平成26年度からは、社内勉強会に加え、外部の勉強会に参加し添削を受けながら、それを消化・補強して受験したところ、合格することが出来ました。

筆記試験は、主語のある文章で短く区切り、問題文に対する答えをきれいに記述すること。そして、最後まで諦めないことが重要であったと思います。

・2次口頭試験について

口頭試験に向けては、個人での準備の他、模擬面接を6回受け本番に備えました。しかし、本番では中盤以降に試験官から鋭い指摘を受けたため、緊張感はかなりのものでした。そのような状況から、かみ合わないことも多く、延長になってしまいました。唯一の救いは、後半の質問で少し挽回できたことであり、そこが重要なポイントであったと思います。何とか合格を頂くことが出来ました。

口頭試験は、模擬面接によるアドバイスを素直に聞いて対策したことが非常に役に立ちました。さらに、面識のない方にも面接していただいたので、本番に近い緊張感を経験できました。

3. 今後について

今後は、資格を有効に活用して、より良い提案と業務成果を提出できるよう、研鑽していきたいです。

最後にこれまで親身になってご指導いただいた先輩技術士の皆様、そして投稿の機会を与えて下さった広報委員の皆様、誠にありがとうございました。